

教育問題

東京工組 総会にて島根大学教授

杉山重利先生の講演

スポーツ店にとって、又、スポーツ業界にとって、学校体育に関わる学納のウエイトはいかがでしょう。

今、学校の体育が大きく変わろうとしております。学校体育の時間は他の科目と共に減ることは確実のようです。学校における部活も、文部省は日曜日の部活は自粛という打出しを致しましたが、部活は見直しがされたようであります。

しかし、まだ、流動的です。私達スポーツ業界人は学校の体育がどうなっていくかしっかりと監視して行きましょう。

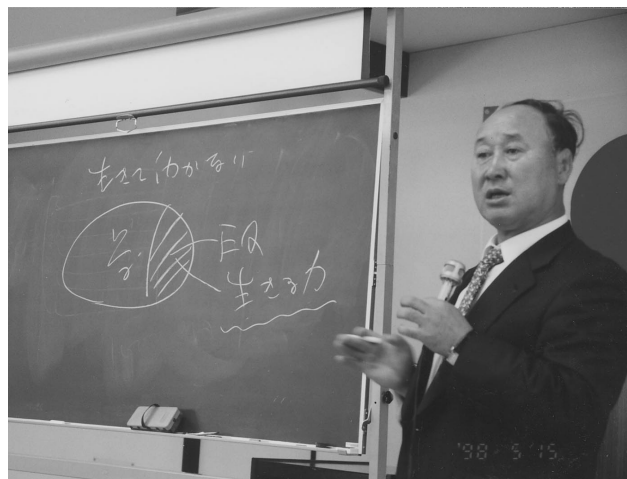
5月15日に東京工組の総会があり、講師に文部省を今年の春、退官して、島根大学の教授になられた杉山重利先生の講演がありましたのでレポートします。

学校教育の新しい方向を探るという事で、第15期中央教育審議会第一次答申が出ました。

この答申は、二転三転して「生きる力」と「ゆとり」を大事にしようという方向性が出てきました。

① 生きる力

- A. 自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力
- B. 自らを律しつつ、他人と共に協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性
- C. たくましく生きるための健康や体力

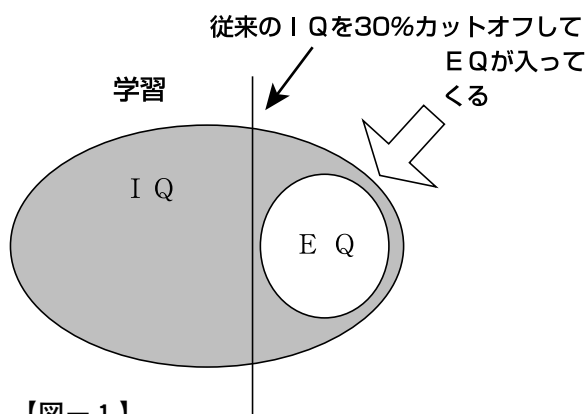


島根大学の杉山重利先生

② ゆとり

そして、この教育改革（新教育課程と学校5日制）は2003年に予定でしたが、1年早めてが2002年に実施する事となりました。

この教育改革の骨子は「授業時間」の削減と「総合学習の時間」の新設にあります。



【図-1】

【図-1】も【図-2】も、同じ事を言っております。

今までの学問は、知識（IQ）ばかり詰め込もうとしておりました。社会へ出て、役に立ったかというところが言えないという結論になったそうです。

ブロック総会レポート (1)

全運小連・中部ブロック・総会

期 日：平成10年 6 月 2 日

会 場：岐阜県下呂町・水明館



服部ブロック会長の挨拶

総会は役員改選期に当たり、服部会長が留任された。そして、服部会長は挨拶の中で、この厳しい時期を、三層が力を合わせ頑張らなければ行けない。幸い、中部ブロック内でスポレク、インターハイ、国体と開催されるので、開催県では起爆剤として、この厳しい時を乗り切ろうと挨拶された。

また来賓に挨拶に立たれた全運団連の羽田野理事長は今、総会の時期で各県を回っていると、出席者が激減していて大変厳しい状況がうかがえると述べられた。

同じく、大阪卸の小西理事長はスポーツ業界の慢性的安売りからの改善を訴えられた。

全運小連の辻本理事長は3月の全運小連総会の報告をして「混迷脱出のシナリオ」——自立・共生・活力——のテーマを大切にして、今年一年の活動指針としたいと延べた。続いて、教育改革の件について、小売店は学校体育に関わるところで商売をしているところの比率が大きく、学納や部活関連が減少したら大変な事になる事が予測される。業界として、2002年から実施される教育改革に関心をもち、意見を言っていきたいと述べた。

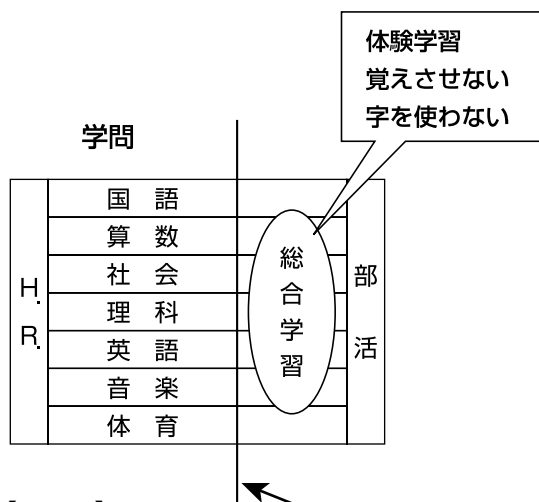
それでは何が不足しているのか？という事になり、今までの学問はIQという「ものさし」ばかり使ったので、それを30%ほどカットして、そこへEQという「ものさし」の他人を思いやる心、感動する心など豊かな人間性、他人との協調性などの、

「総合学習」＝「体験学習」

「覚えさせない」

「字を使わない」

を、突っ込もうというのが新しい答申の流れのようです。



【図-2】

各学科をカットして

2002年から教育は変わろうとしているようです。

しかし、今の学校には体育を教えることが出来る先生が少なくなっているようであります。世間には、体育の大学を卒業して学校の先生になりたい予備軍はいっぱいいます。子供たちにスポーツを指導する事を夢見て大学を卒業しても、学校は体育の必修が減ったり、大学では体育の必修が無くなったりして、益々体育指導を目指す教員の門は狭き門になっています。

ドイツ、フランス、スイスでは週5時間の体育の時間を持ち、健康で丈夫な体作りを目指しているそうです。イギリスでも7種目のスポーツを決めて強化しているそうです。

「総合学習」をスポーツの導入により、効果的に推進できないかを勉強し、私たちはもっと子供たちの教育に関心を持ちましょう。行動を起こしましょう。

ブロック総会レポート (2)

全運小連・北海道ブロック・総会

期 日：平成10年6月3日

会 場：札幌市



挨拶をされる和歌理事長

昨年、初めて北海道の総会に参加して、事前に釧路へ入り、桂木地域の大型店ラッシュを視察致しました。そして総会開催地の札幌へ移動するのも飛行機、お店のスケールも、土地の広さもアメリカ並みだと、スケールの大きさにびっくり仰天したものでした。

今年はスケールの大きさにも、少し慣れたし、驚くことはないと思って出かけましたら、石田専務理事さんのコーディネーターで、若手中堅幹部の方々の帰朝報告の素晴らしさに感動し、驚いてまいりました。

昨年の北海道総会に於いて、事業計画の中に、九州視察に2万円、浪川氏のアメリカ研修旅行に5万円の補助金を出すという項目がありました。今年の三層協議会の内容は、事業計画を実行し、その成果の報告が主なるものでした。専務理事の石田氏がコーディネーターとなり、3人の若手中堅幹部がパネリストとなり報告がなされました。今回はの3人の報告をレポートし、浪川氏の「21世紀に生き残るスポーツ店・生き残れないスポーツ店」—— その分かれ道と対応策 —— のご講演をレポートさせていただきます。



左からパネリストの佐藤氏、西田氏、深瀬氏、コーディネーターの石田氏、講師の浪川氏

米国スポーツ流通視察を終えて

深瀬商事（株） 深瀬 隆一氏

ここ近年、外資系小売業の日本進出が加速している。瞬く間に、日本の玩具業界のシェア率10%を占め、業界のトップのチェーン店となったトイザラスを始め、GAP・エディンバウアー・LLビーン、スポーツの業種では、スポーツオーソリティ・フットロッカー・アスリートフット等、海外小売業の進出が目白押しとなっている。いよいよボーダレス化の中「自由」「公正」「標準化」の波が一举に押し寄せようとしている。こうした環境の中、彼等のホームグラウンドであるアメリカのマーケットが、今どのような状況にあるのか、そして今後どう業態として変化していくのかということを視察する事が、今回の視察の大きな目的であった。

全体を見た中でさすがスポーツの歴史とマーケットの裾野の違うアメリカならではの多種多様な小売の姿があるが、一つ各業態に共通しているのは、それぞれが明確な企業理念と方針を持っているという事である。栄枯盛衰の激しいアメリカ小売業界にあって、いかに自分たちの独自性を打ち出しながらニーズに答えていくかという課題を克服しようとする姿がそこに見てとれる。

アメリカでの小売業の業態と、日本での業態を単純に比較は出来ないが確実に足音を立ててやってくる外資系小売業や国内チェーン店の出店攻勢に対して、我々はどう対応すべきなのか、その課題を整理してみよう。

1. 専門性

極端なトレンドに片寄った品揃えを避け、自店の売場のカテゴリーの中で何が強く、何が弱いのかを分析し強い部分をより強化していく。その為のスタッフの育成・提案力・専門性を高めて行く。

2. 地域密着

イベント催事を通して、地域のスポーツ需要を掘りおこし、従来型の外商を見直す中で、チームMDを強化していく。(スポーツチームに限らない)

3. 新しい業態化

独自の品揃えとプレゼンテーションによって、従来のスポーツ店という枠にこだわらない、タウンユースも取り込んだ広い意味でのスポーツマインドショップ。新しい切り口の開発。

今後、マーケットの変化に伴い様々な状況が考えられるが、唯一つ明確な事は、対大型チェーン店・競合店といった相対的なとらえ方だけでは根本的な解決策にはなりえないという事である。競合を意識するあまり、価格競争や同質化の競合をさらに加速させ、自滅して行くような事は避けなければならない。むしろ、自店のidentityは何か、どうしたいのかという自問自答の模索の中にしか答えはないのではなかろうか。従来型の横並びの発想、売上至上主義を見直す時期に来ているといえる。我々には、越えなければならない課題が山積みしているようである。



深瀬商事(株) 深瀬 隆一さん

アメリカスポーツ流通視察と

買い付けセミナー報告

αスポーツ・和歌 登別店店長 西田 正美氏



αスポーツ・和歌 登別店店長 西田 正美さん

今回アメリカ視察に行き、改めて「グローバルな時代」を痛感いたしました。それは異国の地に行くことは、家族や知人は知っているわけで、視察という仕事上の勉強とはいえ、お土産の一つや二つは買わなければなりません。それだけではなく、折角アメリカの流通業に接するチャンスですから、勉強の意味においても「積極的に買い物をしてみよう」と考えました。

しかし、「アメリカに来了」と証明になる商品というと、銃(ガン)ぐらいなもので、それだけ、日本国内にアメリカ製品が入ってきている事を実感しました。この事から考えると、商品だけが日本に入ってくるわけではなく、それに伴い、人、情報、更にアメリカ流通業が直接日本に入ってくる事は、当然の事だと思いました。

今回の視察では、そんな流通先進国のアメリカから、我々中小小売店の生き残りを学んだような気がします。その学んだポイントを大きく2つにまとめました。

1. マーケットの分析がしっかりできている事

アメリカの流通の世界では当然の事だと思います。なぜなら、アメリカは階級社会、階級(所得)によって、居住地区が異なります。しかし、日本

は1億総中流意識社会といわれ、どこの地域でも、ある程度幅広く商品が売れます。しかし、アメリカでは低所得者層居住地域と高所得者居住地域では、ビジネスの在り方がまったく違いますし、地域によって様々なビジネスが存在します。したがって、マーケットの分析を見誤るとまったく商売になりません。

2. ストアコンセプトが明快である

日本の流通業にはカスタマーサービスの一環として「幅広いユーザーニーズにお応えする品揃え」とあるが、そんな言葉とは無縁な大胆なターゲットの絞り込みである。そのコンセプトは「オーナーのこだわり」の店と思わせるほど明快であった。その証拠に、各ショップを視察する際、店のオーナーやマネージャーにインタビューをする機会があったがはっきりと店のコンセプトを言い切っている。驚かされたのはオーナー不在の店で、たまたま出勤していたパートの女性が自分の言葉として、オーナーのようにストアコンセプトを言える事には、大変驚いた。はたして、我々日本の中小小売店の中に、全スタッフが自社コンセプトを言える体制になっているのでしょうか。また、全員がはっきりと分かるストアコンセプトがあるだろうか考えさせられました。店作りとは、コンセプトに基づいて、人材育成、カスタマーサービス、プロモーションと作っていくべきと思いました。

以上のように、大きく2つの点にまとめ、気がついた事を報告いたしました。最後に中小の小売店でもやり方次第で、ビジネスチャンスはいろいろあるし、また、絶対に生き残る事は出来るという事を確信しました。

アメリカ流通視察

トモエスポーツ サンピアザ店 佐藤 克己氏



トモエスポーツ サンピアザ店 佐藤克己さん

アメリカの多くのショップを視察するうちに、販売員の接客スタイルが日本と随分違う事に気がつき、それはアメリカのサービス精神であり、エンターテイメントが大きく影響しているのではないかと感じました。

まず、販売員それぞれがスポーツを率先して行い、スポーツの楽しみ方や、自分自身で体験したことを、接客を通して商品と共にお客様に提供する事が、販売員自身の大きな財産であり、プロである自身を持たせてくれるのではないだろうか。

日本の場合は果たしてどうだろうか、サービスの本場の国からこれからぞくぞくとメガストアが上陸するなか、いかにお客様に満足して頂けるかを改めて見詰め直す機会となりました。

以上、総会では3人の方の報告書をレポートさせて頂きました。

続いて、スポーツビジネスサポートの浪川壽夫氏のお話を頂きました。



21世紀に生き残るスポーツ店

・生き残れないスポーツ店

—— その分かれ道と対応策 ——

スポーツビジネスサポート 主宰 浪川 壽夫氏

はじめに —————

「自立」

小売店は自立しなければいけない。他人から言われてやるような小売店では横並びになり、それでは成り立たない。過去は役に立たない、自分の目で見、自分で感じて、自分で創ろう。

「共創」

共に市場を創っていかねば、ならない。不景気であったり、少子化であったりして、市場は小さくなっていく。だから、需要を創り、掘り起こさなければいけない。商品やノウハウも創造しなければならない。

「SPA」

製造小売業も新業態として注目。



講師スポーツビジネスサポート 主宰 浪川壽夫氏

本 論 —————

1. スポーツ店経営者は意識改革が必要

スポーツ用品市場、業界の競争環境は随分と変化している。変わっていないのはスポーツ店経営者の意識と経営行動である。

例えば、期間限定のセールでなく、常時セールをしていく事も考えなければ行けない。

どうしたら意識改革できるか？「行動」と「しくみ」を変えてみよう。具体的に言うなら、「仕入」、「支払い」、「在庫」の仕組みを変えてみよう。

2. 独立スポーツ店はストアコンセプトの明確化が必要。自分の得意な分野に集中せよ。

「ストアコンセプトの明確化」とは、「誰に・何を・どこで・どのように」販売するかをはっきりさせる事であり、「得意な分野」とはスポーツの種目とは限らない。そして、「対象顧客」をしっかりとらえ、そのニーズ発掘に努めよ。

3. 仕入と品揃えに真剣に取り組む事が、競争差別化、利益拡大につながる！

自分の独自性を発揮した「品揃え」が差別化となり、「仕入」とは販売したい商品を自分の手で発掘する事。「品揃え」の差別化を図るには、「アソートメント」革新と、I D商品の開発の2つしかない。

4. 商品管理（在庫管理）を徹底し、粗利益の確保に努めよ。

「粗利益」確保は値下げ処分をいかに少なくするかが決め手。「商品回転率6回転」を目指せ。仕入方を考えれば回転率を上げる事が出来る。要は仕入のしくみ、在庫のしくみ、売場作りのしくみを変えてみれば、思わぬ効果が出てくるでしょう。

もし、商品回転率が3回転だとすると、商品が平均4ヶ月埃をかぶってから、お客の手に渡っている事になる。大事なのは「お客様の為」である。そして、在庫をしなくて良い商品は何か？を考える。

5. 販売促進は徹底的にファン作りを目指せ！

目的をはっきりさせてから手段を考える。顧客管理、会員制度は万能ではない。大企業の手法は真似するな。カスタマー（顧客）こそすべて。コンシューマー（消費者）ではだめ。カスタマーを限定して、固定して再来店してもらうにはどうすべきかを考えよ。

ブロック総会レポート (2)

6. 売れる販売員こそ、中堅・中小スポーツ店成長の鍵。

社員にいろいろな事を期待するな。

「売れる社員」の育成を図ろう。経営者の販売姿勢が、成長・発展の原動力。

エキスパートではなく「スペシャリスト」の育成を図ろう。

以上、スポーツビジネスサポート 主宰 浪川壽夫氏のお話の骨子であります。

浪川先生（ご本人は先生と呼ばないでくれとおっしゃっておられますが、今回の素晴らしいお話の後にはこう呼ぶ以外にない感じで先生と呼ばせて頂きます。）のお話は、完成度が高く、一つ一つに説得力があり、納得して勉強させて頂いた感がございます。ありがとうございます。

以上

署名の御礼・・・・・・・・・・

J S Rレポート第5号でお願いいたしました署名の件、締め切りまでに期間がなかったせいもあり、ご迷惑をおかけしたと存じますが、にもかかわらず小売組合員さんからは21組合、33店から431人、卸さんからは16社から77名、メーカーさんからは6社から119人、業界事務局3団体から5名頂き、合計632名の署名が集まりました。ありがとうございました。

署名の用紙は、各所から配られていましたので、他の用紙でご協力頂いた方もあるかもしれませんが、今回の数字は、今回J S Rレポート第5号で送らせて頂いた分の数字でございますのでご了承承願います。

頂いた署名用紙は締め日までに、事務所までお届けいたしました。

お届け頂きました会社名をここに記載し、感謝申し上げます。

小売店の部

北海道 石田スポーツ(株)、(株)スポーツハウス

青 森 事務局、(有)エコスポーツ

山 形 (株)ジャワ商会

茨 城 (株)大島スポーツ

埼 玉 (有)クマガヤスポーツ

千 葉 (有)ニシミヤスポーツ

神奈川 (株)安藤スポーツ、(株)金港スポーツ

静 岡 グリーンスポーツ(株)、
(株)ハカマタスポーツ

愛 知 (株)育英館、(有)ダストンスポーツ、
(株)ニシオスポーツ、丸丹スポーツ用品(株)

岐 阜 (株)山都スポーツ、(株)竹中スポーツ

三 重 (株)球友堂

石 川 (株)ハシモトスポーツ

福 井 (株)フレンドスポーツ

大 阪 マルケンスポーツ社

兵 庫 オリンピア、(株)スポーツマン

広 島 アクト(株)、(株)山中スポーツ

山 口 平岡運動具店

徳 島 ササクラスポーツ

高 知 (株)にしむらスポーツ

福 岡 (株)アスカ、(資)小倉矢野スポーツ
(資)デニススポーツ

宮 崎 (株)イワミツ

卸の部

(株)アイク、(株)アサイ、(株)エスエスケイ

(株)イモト（本社、仙台（営）、名古屋（支））

(株)亀山運動具店、キノヤ(株)、ヒロウン(株)

(株)サンクレスト札幌(営)、(株)ザナックス

シウラスポーツ用品(株)、ゼット(株)

(株)スポーツタカハシ、トロップス(株)

(株)ベストワン、ミズノ(株)、ベンゼネラル(株)

メーカーの部

(株)アシックス、(株)エイビス、レワード(株)

(株)ゴールドウイン名古屋(支)、ヤング(株)

(株)デサント（札幌（支）、仙台（支））

業界団体事務局

大阪スポーツ用品卸商業組合、日本スポーツ券(株)

武道業界はこれだけやっている。

スポーツ業界はこれで良いか？

「武道振興大会」は衆参両院議員の武道愛好者で組織している武道議員連盟と主要武道団体連盟の統一組織である日本武道協議会、日本武道館の三団体の関係者が一堂に会し、武道振興の諸施策を模索し、語り合い、あわせて相互の親睦融和を図るため毎年開いている。

今年も3月31日正午から開催され、三団体の会長の坂本三十次氏が「今や武道は世界の国々に普及したが、本家本元の日本でもっと盛んにしなければならない。とくに青少年の健全な精神と強健な身体の育成に武道の普及振興が望まれる。この大会もその一助を担うべく毎年開かれているが、おかげで成果は徐々に出てきている。今後とも関係各位のご指導、ご尽力をお願いしたい」と述べ、決議文を読み上げた後、町村文部大臣に手渡し、文部大臣は「中学生の事件があいついでいるが、今こそ学校教育における武道が必要だと痛感する」と挨拶をされた。

決議文は次の通り

「我が国は成熟し、国民の物的生活は著しく向上したが、近年の経済事情もあって、変化する社会のもと、日本古来の伝統や美風が軽視される面もあり、特に青少年にその傾向は顕著である。

その一端が、最近学校現場における、いわゆる“いじめ”“不登校”問題や低年齢層の凶暴科など、他を思いやる精神の欠如となり、苦しみに耐え、日常生活の中で困難を克服する意欲、自制心の衰退となって露呈されている。そのことから忍耐、克己、勇氣、礼節などの精神と強健なる身体を育み、人格の陶冶を目指す全人教育としての武道振興の必要性を改めて痛感するものである。また、急激な少子化現象に伴う武道人口の減少化にも対処し、総合的な振興普及に改めて取り組み、教育改革にこれらの趣旨を生かすよう提言する。

さらに近年、武道は世界の国々においても心身

を錬磨する人間形成の道として高く評価され、日本の民族文化を越え人人類共通の文化に発展しつつある。それだけに我々は武道憲章などの精神に鑑み、武道が持つ固有の文化としての特性を生かしつつ、国際社会における日本人としての自覚と国際連帯の使命感を涵養することが必要である。よって、これらの趣旨に基づき次の事項の早期実現を強く要望する。

- 一、学習指導要領には「柔道・剣道・相撲・なぎなた・弓道に続き、空手道・合気道・小林寺拳法・柔剣道」を明記して、条件の整備次第履修できるようにし、また将来の科目化に配慮すること。
- 二、学校教育における武道の実施を促進するとともに、授業時間確保のため地方教育委員会に対し指導の徹底を図ること。
- 三、中学校・高校の武道場、必要備品設置に対し、国の補助制度を確立し、年次計画による促進とともに民間企業における武道場の設置、充実についても税制措置などにより、その実施を図ること。
- 四、中学校・高校の武道教師を充足するため、体育科に常勤の武道専任教師を確保し、現職教育の徹底拡充を図るとともに、優れた技術と熱意を持つ武道指導者について特別免許状並びに特別非常勤講師制度を活用し、その採用を促進すること。また生涯教育の分野における武道普及のため社会体育主事などの資格を想像するとともに、体育指導制度の充実に必要な行政措置を講ずること。
- 五、武道の国際交流を図るため、国内外における国際試合、国際大会の充実はもとより、技術交流研修会や指導者養成などを積極的に促進すること。
- 六、武道振興の体制を強化し、学校、家庭、社会それぞれの緊密な連携による青少年健全育成措置を図ること。
- 七、スポーツ振興基金の助成にあたっては幅広く活用できるように特に配慮すること。
- 八、武道の源流である古武道の保存・継承を図

るため、歴史上価値のある由緒正しい流派の文化財指定等について所要の措置を講ずること。」

以上、決議文。

私たちのスポーツの名を冠したスポーツ議員連盟という組織がございます。その組織は次のような方々によって組織されております。

スポーツ議員連盟役員

会 長 櫻内義雄

会長代行 森 喜朗

最高顧問 竹下 登、橋本龍太郎、奥野誠亮
河野洋平、海部俊樹、小沢一郎
羽田 孜、土井たか子、村山富一
鳩山由紀夫

副 会 長 綿貫民輔、松永 光、石橋一弥
西岡武夫、近江巳記夫、鳩山邦夫
園田博之、梶原 敬義

常 務 理 事 保利耕輔、島村宣伸、小沢 潔
船田 元、麻生太郎、白井日出男
小杉 隆、藤征士郎、町村信孝
柳沢伯夫、木村義雄、斉藤斗志二
二田孝治、佐藤静雄（衆）鈴木恒夫
森山眞弓、井上 裕、倉田寛之
田沢智治、竹山 裕、青木幹雄
小野清子、片山虎之介、木宮和彦
関根則之、釜本邦茂、亀谷博昭
鴻池祥肇、佐藤静雄（参）、橋本聖子
馳 清、愛知和男、鹿野道彦
二見伸明、川端達夫、福留泰蔵
松浪健四郎、赤松宏隆、小坂彦次
江本孟紀

事務局 長 麻生太郎（兼）

事務局次長 河村健夫、馳 清、中田 宏
松浪健四郎（兼）、大畠卓宏、濱田健一
奥村辰三、北沢俊美、塩谷 立

＝順不同・敬称略＝

今、日本は経済的に言えばグローバルスタンダードの波に煽られ今年の4月からのビッグバンをすでに向かえながら何をしたいのやらわからない状態が続いているようではありますが、私たちの日本の子供たちがどうにかなってしまうのではないだろうかと、大変な恐怖感に脅え、危機感を抱いております。子供の教育現場がおかしい状態で、若い親は結婚しても、子供を作りたいくない状態にまでなっているのではないのでしょうか。今幸いに、2002年から、今までにないくらい教育改革がなされようとしております。そこに、今年の長野で開催されました冬季オリンピック、身障者のオリンピックともに私たちに大変な感動を与えてくれました。

あの感動を与えてくれた種目は、冬季オリンピックですから地域的なさはあるものの、あれらのスポーツも皆、学校体育、部活の延長上のスポーツであります。それらのスポーツが学校教育の中でどのようにかわりかわっていかに関心を持ち、そして、あるべき状態になるよう陳情をしていかなければならないのではないのでしょうか。スポーツを軽視して、感動を伝える勉強が他にあるのでしょうか。当然、音楽や美術のような情緒を大切にした科目もあると思います。

英国では4年前のサッカーワールドカップに出場権を得られなかったのを機会に、時のメイジャー首相はスポーツの衰退は国力の衰退につながるとして、7種目のスポーツを選び、その種目の中から各学校に選択させ強化させたそうです。今の英国のパワーアップは、スポーツから来ているのではないのでしょうか。

「思いやり」「協調性」「頑張り」、などEQを育むスポーツを小、中、高の教育にもっと取り入れられるように、業界として頑張りましょう。

レポート 理事長 辻本 昌孝

(社) スポーツ産業団体連合会の総会が平成10年6月12日、東京の如水会館にて開催されました。

事業報告から、委員会報告の中で主たる事業は①フェスティバル委員会、②見本市委員会、③調査研究委員会の三委員会がありました。

- ① フェスティバル委員会は二つイベントを開催されました。

その一つの「市民生涯スポーツ大祭」は「生涯 スポーツ&レジャーフェスティバルinかごしま」として、平成9年10月24日～25日鹿児島県鹿屋市の霧島ヶ丘公園周辺で開催された。

二つめの「ニュースポーツ振興フェスティバル」は「ディスクスポーツフェスティバル」として、平成10年3月21日～22日 静岡県舞阪町にて開催されました。

共に、競輪補助事業で開催されておりますが、組合はあまりかわりを持っていなかったで、より関わりを持っていくべきだと思いました。

- ② 見本市委員会は「スポーツジャパン・スポーツ&レジャー見本市」の開催であります。

*春は平成9年8月27日～29日、秋は平成10年2月25日～27日に、東京ビッグサイト（有明）にて開催されました。

秋、春ともに5,000人ほどの来場者数との報告でしたが、小売の大型化の中で1人のバイヤーの発注量の大型化により、見本市の来場者数は世界的に減っているようであります。小売組合の皆様におかれましては、自分の店の将来を考え、他店との差別化を考える場として是非行ってみましょう。

- ③ 調査研究委員会は「スポーツビジネス講座」をスポーツ産業にかかわる団体、企業などを対象に平成9年10月17日から平成9年12月18日

にわたって全10回開催されました。

- ④ その他の事業として

- (1)国民意識調査（ボランティアに関する調査）
- (2)祝日三連休化推進会議への支援
- (3)サマータイム制度導入推進事業への支援
- (4)機関紙「JSIF（ジェイシフ）」の制作と発行
- (5)生涯スポーツコンベンション'98
- (6)後援事業「'97全日本車いすテニス宮城大会
チャレンジカップ仙台」
- (7)'98健康スポーツシンポジウム
- (8)第4回スノーボードジャパン
- (9)東京アウトドアズ・フェスティバル'98

- ⑤ 日本スポーツ産業学会活動報告

以上、羅列になってしまいましたが、通称「スポ団連」がどのような活動をしているかを知って頂ければと思い、レポート致しました。

事業計画につきまして、来年は次のように予定されておりますので、フェスティバルの開催地の組合員の皆様は前向きに捕らえてみてください。

- ① 「生涯スポーツ&レジャーフェスティバルin西会津」（仮称）は平成10年10月から11月、福島県
- ② 「ニュースポーツ振興フェスティバル」は「ディスクスポーツフェスティバル」は平成10年10月から11月に東京、静岡、大阪にて開催予定。
- ③ 「スポーツジャパン・スポーツ&レジャー見本市」（会場は東京ビッグサイト）に関しては、'98秋は平成10年8月25日～26日、'99春は平成11年2月24日～26日の予定です。
- ④ 調査研究委員会の「スポーツビジネス講座」は平成10年10月15日から、スポーツサービス市場の動向、スポーツ用品市場の動向等に関する講座が予定されております。会場は日本青年館の予定です。

常務理事会レポート

日時：平成10年5月12日(火)

会場：東京スポーツ会館4階会議室

委員会 11:00~11:45

審議事項

4つの委員会の委員長配属については、先の理事会にて報告済みでしたが、常務理事の委員会配属はまだ決まっていなかったもので、委員会の前に審議した。理事長は①出身ブロックがダブらないように、②JSEC委員会については、国体、総体開催経験などを、考慮に入れたという、配属案を提示して承認を求め、承認された。

委員会編成表 *印が委員長

① JSEC委員会

*谷久人、渡辺哲夫、森健一、岡本邦彦、
渡辺健介、浜田幸一

② スポーツ券・PL・総務委員会

*石井憲孝、山崎次郎、和歌宏晏、町田宏遠、
服部昌三

③ 公取協・海外担当委員会

*小関和夫、天沼教作、竹原和彦、浅野善之、
山内修治、石田輝義

④ 見本市・個展・活性化

*辻本昌孝、石田豊明、小島文男、上田善重、
恒吉憲一



常務理事会 12:30~16:00

〔出席者〕(常務理事17人、監事1人)

成松、平岡、辻本、石井、谷、小関、天沼、
和歌、石田(豊)、渡辺(哲)、森、服部、
竹原、岡本、上田、渡辺(健)、石田(輝)、
西宮

〔欠席者〕(委任状出席)(常務理事9人、監事1人)

魚見、橋本、山崎、小島、町田、浅野、浜田、
山内、恒吉、藤崎

【理事長挨拶】

岡本大阪組合理事長に対し、第47回全国総会開催主管に関し、「混迷脱出のシナリオ」自立、共生、活力のテーマのもと、成功裏に終了したことに感謝を述べ、このテーマを今年度の事業の柱にしてやってゆきたいと述べた。

総会後、新メンバーで開催される最初の常務理事会ということで、次のように所信を述べた。

*常務理事会は全国的なことについて協議し、審議して行きたい。都道府県、ブロックの事はそれぞれのところで解決すべく、努力頂きたい。

*ロバート議事法を勉強しながら、合理的な会議運営を導入して行きたい。

*全運小連の活動を、活性化するために、収入の増額を図りたい。

*全運小連の法人化を研究・推進したい。

*教育改革、学校体育に関する陳情

*少子化対策の陳情

*「JSRレポート」の充実

*オープン価格の問題(スキー、テニス)などを研究してゆきたいと、述べた。

常務理事会レポート

【議長選出】 司会者が辻本理事長を指名

【議事録作成人、署名人の氏名】

議長が作成人に佐々木事務局を指名、署名人に
石井副理事長、天沼会計理事を指名

【前回議事録の承認】 異議無し

【報告事項】

1) 第47回全国総会経過報告

岡本理事長から、皆さんの暖かい協力により
無事終了できたことに関し、お礼の報告があっ
た。

2) 谷・JSEC委員会から

大阪にてJSECの連絡会議を開いた。NSKの問
題が中心だった。内政干渉はしたくないが、
NSKの近代化、合理化を希望している。

8月の有明におけるスポーツ ジャパン ショウ
開催時に、来年開催予定のJSEC関連の各県（熊
本、岐阜、富山、岩手）に集まって頂き、会議
を開催したい。

3) 石井・スポーツ券・PL・総務委員会から

スポーツ券は良好に推移しているとの報告
PLの件は次回常務理事会で報告。

平成10年度の組合の会費がすでに6県から入
金頂いたとお礼があった。他県についても入金
のお願いがあった。

4) 小関・公取協・海外担当委員会から

スポーツ公取協の宮地専務理事に下記の質問
をしたところ早速回答を得た旨、資料により報
告した。

- ① テニスラケットの価格表示について
- ② 価格乖離について
- ③ 並行輸入について
- ④ 二重価格表示について
- ⑤ PB商品について価格維持、プロパー商品の
安売りについて

海外担当について

① 3月25、26日、NSGAの副理事長ドイル氏の
令嬢と3人の男子大学院生のガイドをした。
彼らは、NBA商品に関する流通、GAPの流通
などの視察をした。

② 3月末にフランスの全国スポーツレジャー
商業連合会FNCASLより「世界スポーツ用品小
売概観」が送付された旨報告した。

5) 平成10年度組合会費請求の件

総会終了後、3月26日に平成10年度組合費の
請求書を、各都道府県理事長当て送付した旨、
事務局より報告が合った。

6) 全運団連（全国運動用品商工団体連合会）役 員及び代議員候補推薦の件（事務局より報告）

3月末までの期限で報告しなければならなか
ったので、魚見会長、辻本理事長が打合わせの
上、決定、推薦した旨の報告が合った。

全運団連の役員

副会長	全運団連の役員
常務理事	魚見秀男、辻本昌孝
理事	石井憲孝、谷久人
監事	成松峰則、橋本隆、平岡博
	竹内勢四郎

全運団連の代議員

小関和夫	天沼教作	山崎治郎	和歌宏晏
石田豊明	渡辺哲男	小島文雄	森健一
町田宏遠	服部昌三	竹原和彦	岡本邦彦
上田善重	浅野義之	渡邊健介	浜田幸一
山内修治	石田輝義	恒吉憲一	西宮敬二
藤崎泰助	長谷川博	中西秀和	浦田良輔
宮平守光	佐々木武男		

7) 石川晋氏推薦署名は下記のようにした。

小売	21組合	431名
卸	16社	77名
メーカー	6社	119名
業界団体	3団体	5名
合計		632名

【要望事項】

1) 名簿点検依頼の件

各都道府県組合員の住所録の訂正、及び「JSR レポート」発送宛名シールの訂正の為、組合員の変動がございましたら、FAX. にて事務局まで連絡するよう要望した。

(全運小連事務局のFAX. 03-3865-7704)

2) 業界関係スケジュールの件

スケジュールの重複を避ける為、各都道府県の総会、ブロック総会、各業界団体の総会、展示会などの日程を決定する前に、重複しないようにスケジュール表を確認して決定し、決定したら至急事務局へ連絡するように、事務局から要望した。

【協議事項】

1) 平成11年度全運小連定時総会の件

主管：神奈川県・森理事長から、既に決定されている事に関して報告があり、未決定部分に関して協議した。

既決定部分

会議名：平成11年度（第48回）

全運小連定時総会

主 催：全日本運動用具小売商組合連合会

主 管：神奈川県運動具商協同組合

後 援：全運小連関東甲信越ブロック協議会

期 日：平成11年2月

22日（月）理事会

23日（火）JSEC、定時総会、
三層協議会、懇親会

24日（水）朝食後自由解散

場 所：横浜ロイヤルパークホテル ニッコウ
(ランドマークタワー)

横浜市西区みなとみらい2-2-1-3

Tel. 045-221-1111

以上が決定事項。

観光・ゴルフの件

神奈川県・森理事長から3日目観光、ゴルフに関し主管県としては、不景気な時でもあり、また25日から「東京ビッグサイト・有明」で「トウキョウ スポーツ ショー」と「スポーツ ジャパン」が開催されるので、観光、ゴルフに関しては計画をしない予定であるとの意見に、異議がなかった。

会費の件

今年の総会で会費が高いという意見があったが、250人以上の参加者を収容できるホテルで、交通の便などをあわせて検討すると、会場もかぎられてしまい、新幹線横のホテルなども案として検討したが費用的にはほとんど変わらず、予算的には、今年度と同額で、すすめたいとの意見に、異議がなかった。

2) 平成12年度（第49回）全運小連 定時総会の件

申し合わせ事項で、東北ブロックで受けて頂く順番であり、東北ブロック長の渡辺常務理事より下記の通り報告があった。

主 管：岩手県スポーツ用品専門店協同組合
理事長：長谷川 博氏

後 援：全運小連 東北ブロック協議会
場 所：盛岡市

3) 平成13年度（第50回）全運小連 定時総会の件

申し合わせ事項で、中国ブロックで受けて頂く順番であり、中国ブロック長の平岡副会長より7月14日のブロック総会で話し合い、交通の便等検討して、期待に添うようにしたいと報告があった。

4) 組合員増強運動の件

資料として、次の2点が出され、協議した。

*昭和53年度から平成9年度までの20年間にわたる全運小連組合員数の推移グラフ

*平成8年度、9年度の各都道府県組合員数の比較

平成5年度の新潟県で開催された全国総会に

スポーツ業界スケジュール

平成10年（1998年）

7月14日(火) 全運小連中国ブロック協議会

主 管：鳥取県運動用具商業協組

会 場：ホテルニューオータニ鳥取

(鳥取駅前・tel. 0857-23-1111)

役員会：11：30～12：30

総 会：13：10～14：10

三層協議会：14：20～16：50

懇親会：17：00～19：00

8月1日(土) 四国総体

～20日(木) (香川県・インターハイ)

8月17日(月) 東北全中大会

～25日(火)

8月24日(月) 全運小連常務理事会（第3回）

会 場：東京靴会館2階ホール

tel. 03-3862-3511

委員会：11：00～11：45

常務理事会：12：30～16：00

8月25日(火) ザ・トウキョウスポーツショー

26日(水) '98 Aug

主 催：東京スポーツ用品卸商協同組合

会 場：有明・東京ビッグサイト

8月25日(火) スポーツ ジャパン '98秋

26日(水)

主 催：(社)スポーツ産業団体連合会

会 場：有明・東京ビッグサイト

9月2日(水) 第90回スポーツビジネスフェア

3日(木) 大阪

主 催：大阪スポーツ用品卸商業組合

会 場：インテックス大阪

9月9日(水) 「組合創立50周年記念式典」

主 催：東京スポーツ用品卸商協同組合

9月12日(土) 神奈川国体（夏季国体）

～15日(火)

9月24日 全運小連関東甲信越ブロック大会

主管：長野県運動用品専門店協同組合

会場：戸倉上山田温泉・ホテル清風園

tel. 0262-75-1016

10月7日(水) '98 ワールドスポーツショー

8日(木) NAGOYA

主 催：名古屋スポーツ用品商工協同組合

会 場：名古屋市中小企業振興会館(吹上)

10月24日(土) 神奈川国体（秋季大会）

～29日(木)

11月5日(木) 「組合創立40周年記念式典」

主 催：東京スポーツ用品工業協同組合

平成11年（1999年）

1月6日(水) 全運団連・新春記者会見

主 催：全国運動用品商工団体連合会

会 場：大阪・三井アーバンホテル

1月6日(水) 第37回関西スポーツ業界新年挨拶会

共 催：大阪スポーツ用品卸商業組合

関西スポーツ用品工業協同組合

会 場：大阪・三井アーバンホテル

1月7日(木) 第32回 新春年賀の会

共 催：東京スポーツ用品卸商協働組合

東京スポーツ用品工業協同組合

会 場：上野精養軒

2月22日(月) 全運小連 理事会

23日(火) JSEC

第48回 全運小連定時総会

三層協議会

懇親会

主 管：神奈川県運動具商協同組合

会 場：横浜ロイヤルパークホテル

ニッコー（ランドマークタワー）

横浜市西区みなとみらい2-2-1-3

tel. 045-221-1111

2月24日(火) ザ・トウキョウスポーツショー

25日(水) '99Feb

主 催：東京スポーツ用品卸商協同組合

会 場：有明・東京ビッグサイト

2月24日(火) スポーツジャパン '99春

～26日(木)

主 催：(社)スポーツ産業団体連合会

会 場：有明・東京ビッグサイト

会議の運営

「報告事項」について

報告事項は会長、理事長、委員長から報告をする。
これは報告するのみで、討議はしない。

「協議事項」について

提案者はたたき台として、二案以上提案して、
いろいろな意見を出してもらう。その意見の中から参加者の合意点を探る。結論は出さないで、いろいろな意見を聞くだけで良い。

重要議案については二度以上協議することもある。

急を要するものについては「協議事項」から
「審議事項」に変更提案（動議）し賛成多数の場合
は、即、「審議事項」に切り替えることもある。

「審議事項」について

協議の段階で充分協議され、意見が出尽くした議案について、協議の段階で出された意見を加味して、次の会議にて「審議事項」として提案する審議事項で、提案者は一番良いと思われる議案を一つだけ出す。そして討議し、変更すべきは変更する。

「審議事項」は必ず採決を取り、可決か、否決かを決めなければならない。否決ならその議案は却下され、可決されれば議案は承認され、その組織全体の意志となる。

「動議」について

会議中に予定議案以外の議案（変更提案、新規提案など）を議員が提出すること。

動議の「セカンド」について

動議は通常、会議員であれば、誰でも会議に提出できるのが原則である。

しかし、提出された動議をすべて会議の議題とし、議決しなければならないとすると、議事の能率を阻害し、あるいは会議員の権能を侵害することにもなりかねない。そこで動議が、議題となる為には提出者のほかに賛成者を要すると決められている。その賛成者は、「セカンド」と言って挙手することにより、提出者に賛同することを表明する。

編集後記

日本が初めて参加できたサッカーのフランス・ワールドカップもいろいろな話題を提供してくれました。入場券の事、日本チームの健闘ぶり、日本のサポーターのマナーの良さなど色々ありました。

私は、ある面で、サポーターが受けたマナーの評価はサッカーの試合で1勝する以上の価値ある行動をとってくれたと評価したいと思います。サポーターは一つの会場に1万人以上の統制の無い集団であったと思いますが、評価されたそのマナーは誰が指導したのでしょうか。それは国内のJリーグの応援指導から始まっていると思います。そしてそれを指導したのは、サッカーの専門店のおやじさんであったり、その専門店の社員であったり、メーカーの方達であったと思います。

私達の仲間のお店の皆さんが、国内のJリーグの応援で指導されたサポーターが、フランスまで行って、Good manner で評価された事に、大変喜びを感じ、その成果について共に乾杯をしたい気持ちです。ありがとうございました。

文部省は「国旗」と「国歌」の指導を強化といっておりますが、スポーツを振興し、国際試合を振興すれば義務付け無くても一生懸命日の丸を振り、胸に手を当てて君が代を歌うのではないのでしょうか。

今、商売は大変厳しい時であります。今いろいろな地域へ行き、勉強会に参加しております。結論は横並びの商売をしていてもだめ、自分の得意な分野を生かして、自分の夢を描き、個性ある自分らしさのある店作りが成功の秘訣でないかと思います。

8月25日から東京有明で、9月2日からは大坂インテックスで、展示会が始まります。卸さん、メーカーさんは一生懸命やっています。是非、展示会に行きましょう。そして、取組みのパートナーと熱い対話をしてきましょう。

(T)